

ハスモンヨトウ情報第1号（ダイズ）

令和3年8月3日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

ほ場での発生動向に注意し、白変葉や幼虫を確認したら防除しましょう。

1 発生状況

フェロモントラップによる本種の誘殺数は、安城市で6月第1半旬から第3半旬にかけて急増しましたが、その後はほぼ平年並の誘殺数となっています（図）。長久手市、西尾市、弥富市及び豊田市の誘殺数はほぼ平年並です。

2 今後の見込み

名古屋地方气象台7月29日発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高く、降水量はほぼ平年並と見込まれています。本種の発生に好適な条件が予想され、今後、発生量が急増する可能性があります。ほ場での発生動向に注意し、白変葉や幼虫を確認したら表を参考に防除しましょう。

薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同じIRACコードの薬剤は連用しないようにしましょう。

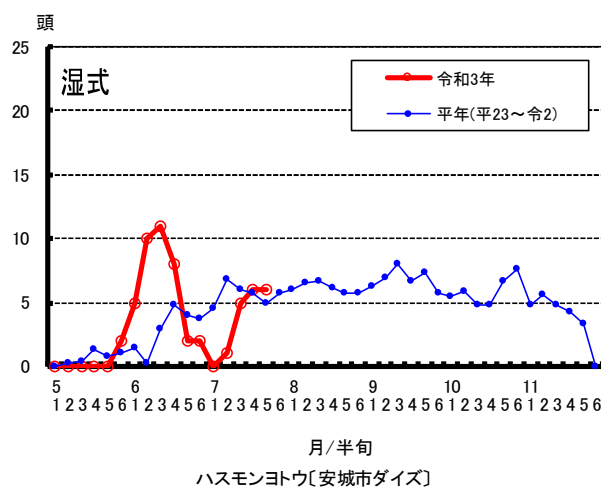


図 フェロモントラップにおける誘殺数

表 ダイズのハスモンヨトウに対する主な防除薬剤

農薬名	使用時期	使用回数	IRACコード
トレボン乳剤	収穫14日前まで	2回以内	3A
トレボン粉剤DL	収穫14日前まで	2回以内	3A
ノーモルト乳剤	収穫14日前まで	2回以内	15
カスケード乳剤	収穫7日前まで	2回以内	15
トルネードエースDF	収穫7日前まで	2回以内	22A
プレオフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	UN
プレバソフロアブル5	収穫7日前まで	2回以内	28
ペガサスフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	28
マトリックフロアブル	収穫前日まで	3回以内	18

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRACコードの詳細は、http://www.jcpa.or.jp/labo/pdf/2020/mechanism_irac02.pdf を参照する。

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、

他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。